

中部ペンクラブ

第 79 号

発行所

中部ペンクラブ事務局

〒464-0067 名古屋市千種区

池下1-4-17 オクト王子ビル6階B室

TEL (052) 752-3033 F3011

編集委員長：中 村 賢 三

製作：(株)総研

コロナ禍で見えた明かり

文学賞表彰式とシンポジウムを開催

中部ペンクラブのイベントは6月19日総会が中止となり、9月19日シンポジウムも延期され、コロナ禍で翻弄されたが三度目にやっと実現した。中部ペンクラブの文学活動にもようやく明かりが見えた。

文学賞表彰式は11月7日、シンポジウムの冒頭に行われた。会場は名古屋国際センター第1会議室で、療養より元気に復帰された三田村会長により、次の賞状等の授与が行われた。

○第34回中部ペンクラブ文学賞

国府正昭さん(海)

受賞作「シジフォスの営み」

『海』102号 賞状・賞金十万円

中日新聞社賞 賞状

○中部ペンクラブ文学賞特別賞

中島公男さん(個人参加) 賞状

『瞬間よ止まれ』鳥影社より刊行

○第33回中部ペンクラブ文学賞

藤原伸久さん(文宴)

受賞作「雲を掴む」

『文宴』第131号

藤原さんには前年表彰式が出来なかったため、今回ご出席頂き花束贈呈を行った。

第9回シンポジウム

『中部ペン』28号を読み文学を語る

コロナ感染を用心し一般公開としないが、今回は会員案内のみとした。会員も自重しておられ、参加者は34名に留まったが、活発な発言が多く中身の濃いシンポジウムとなった。

パネラー 国府 学(弦・ムーの会)

寺田 繁 (北斗)

原 あやめ (峠)

松嶋 節 (文宴)

麦畑 羊一 (P.)

司 会 遠藤 昭己(海)

■第35回中部ペンクラブ文学賞募集

中部圏(注1)の文学の活性化を図るとともに、現代小説に新風を吹き込むことを目的として、創設された文学賞です。同人雑誌、個人誌、単行本に発表された短編小説(注2)を対象としています。インターネット、電子書籍等、電子による発表作品は対象外です。

応募作品発表誌、作者の住所、所属する同人雑誌(注3)作者の活動拠点(注4)の何れか一つが中部圏であれば誰でも応募できます。本人の応募はもちろんですが、同人雑誌の主宰者や代表の方、友人知人から応募していただくこともできます。お声を掛けていただくなど、多方面からより多くの作品を期待しています。(注1)中部圏：愛知、三重、岐阜、滋賀、静岡、長野、福井、石川、富山(2)短編小説：400字詰め原稿用紙換算150枚まで(3)所属する同人雑誌：必ずしも応募作品発表同人雑誌でなくても、作品発表等活動があればよい(4)作者の文学的活動拠点：文芸教室、通常行われている合評会の開催地等

■応募要項抜粋 (詳細は会報79号同封のチラシ)

規定：二〇二〇年一月から二〇二一年十二月の二年間に発行された書誌の作品で、連載作品は最終回がこの期間内。単行本の短編集は一作品を指定。応募は一人一作品。中部ペンクラブ会員外の応募者は二千元の出品料が必要。応募用紙・チラシ裏面又はHPあいちウェブ文学館から締切：二〇二二年一月十五日(当日必着のこと)

表彰：二〇二二年六月中部ペンクラブ総会、賞状と賞金一〇万円及び中日新聞社賞状(結果は四月下旬頃、本人と各新聞社に発表)

選考委員：清水良典 堀田あけみ 竹中忍

応募宛先：〒464-0006 名古屋市千種区柳堀町105 西尾典祐

●受賞作「シジフォスの営み」

国府正昭

(パネラー) 松嶋 節

○構成、テーマともに企みに満ちた作品である。

【次ページへ続く】